



志布志市

# 市議会だより



<http://www.city.shibushi.lg.jp>



平成20年9月からの稼働をめざし、給食センターの工事始まる。

議会のうごき	..... 2P	産業建設委員会での質疑・答弁	... 6P
総務委員会での質疑・答弁	..... 4P	一般質問に11議員登壇	..... 7P
文教厚生委員会での質疑・答弁	... 5P	議員控室	..... 18P



# 議会のうごき

平成19年12月議会定例会は、12月7日から26日までの20日間開かれ、一般会計、水道事業会計、国民健康保険特別会計、国民宿舎特別会計の補正予算、条例など議案21件可決、発議1件、志布志市議会委員会条例の一部を改正する条例を可決、意見書2件を採択し、道路整備の促進及び道路財源の確保等に関する意見書、原油価格の高騰に伴う農林水産業の経営安定を求める意見書を国に提出しました。

## 第2回臨時議会

保育所の民間移管を否決

平成19年11月13日から16日まで開かれた臨時議会は、保育所の民間移管に伴う議案が提出されたが、3委員会の連合審査を経て、すべてを否決した。

志布志市児童館条例の一部を改正する等の条例の制定

志布志市保育所条例の一部を改正する条例の制定

財産の無償譲渡について

(城南・みどり・さゆり・有明・野神保育所)

財産の無償

貸付けについて

(城南・みどり・さゆり・有明・野神保育所)

給食センターは可決

給食センター新築工事の請負契約及び財産の取得の議案は原案のとおり可決された。

工事請負契約の締結について

財産の取得について  
(備品購入)

## 所管事務調査

## 総務委員会

平成19年11月19日から22日までの4日間の日程で、調査事件の2項目について、福井県大野市、石川県白山市及び滋賀県長浜市を調査いたしました。



城下町おおの定住化促進事業



古い建築物を利用した観光を(長浜市)

## 大野市

人口の減少に伴い過疎化が進んだ重要施策として、「城下町おおの定住化促進事業」に着手、新しく大野市に転入し、市内業者の施工による住宅を取得した場合、新築、中古、それぞれに補助をし、積極的に定住促進に取り組んでいる。

## 白山市

商店街は車社会の到来と郊外型大型店の進出により、経営が厳しくな



り、商店数も少なくなってきた。」「沿道整備計画」を策定し、道路と歩道のバリアフリー化、電線の地中化、共同事業や商店の活性化に県の補助金等を使いながら独自の施策を行っている。

### 長浜市

「博物館都市構想」が策定され、旧市街地の古建築物の保存と再生のため、長浜市と地元民間企業出資による第三セクター「株式会社黒壁」を設立、古建築物を利用した美術館、ギャラリー、ガラス工房等の施設をオープンさせ、観光客が多くなり、商店街に活気が帰ってきた。

### 文教厚生委員会

平成19年11月19日から22日までの4日間の日程で、調査事件の2項目について、滋賀県高島市、大阪府富田林市を調査した。



所管事務調査を行う文教厚生委員

### 高島市

給食センターにおける地産地消の取り組みとして、給食米については地元農協の協力により、地元生産米を全面利用している。

志布志市でも、米をはじめ野菜についても各関係機関と積極的に連携を図り、地産地消の検討委員会を立ち上げ、食育を拡大し安心な食料の生産に努めるべきである。

### 富田林市

国の重要伝統的建造物群保存地区として、住民と行政が一体となり、歴史的景観の保存とまちづくりに取り組んでいる。

志布志市でも財政的にも支援をしながら、文化的遺産の価値、知識を高め、長期的な計画性を住民に示し、文化財愛護思想の普及啓発を図りながら、経済的負担を含めて理解を深める取り組みが必要である。

### 所管事務調査

### 産業建設委員会

平成19年10月11日から14日までの4日間、島根県で行われた全国和牛能力共進大会の激励に合わせ、島根県の浜田市と斐川町を調査した。

### 浜田市

低迷する魚価を打開するため、地元で獲れる魚

をブランド化し、付加価値を高めることで、地元水産業の復興を図っている。

志布志市でも八毛やちりめんをブランド化し、水産業の復興を図る必要がある。

### 斐川町

地域用水機能を活用した作物の作付け、地域の食料の安心・安全、自給率の向上を目指し、地元のニーズに応えた品目を適量生産する。



全国和牛共進大会に県の代表として

### 志布志港振興対策等調査特別委員会

平成19年10月4日から5日までの2日間に、岡山県倉敷市水島港及び福岡県北九州市北九州港の（構造改革特区の指定の状況について調査した。

両港とも歴史のある港湾であるが、他港湾との競争のため、新しい制度を積極的に取り入れていた。また、市民に親しまれる港のため、専門の係を置くなどしており、見習うべきことが多かった。

### 農業・農村活性化対策等調査特別委員会

平成19年10月23日から24日までの2日間に、高知県土佐町の「過疎地域自立活性化の取り組み及び環境保全型農業の取り組み」と、徳島県三好町の「都市と人物・情報の交流拠点づくり」について調査した。

志布志市でも農協と体となった販売ルートの開発、ブランド化や大量生産の推進、港を利用した輸出できる品種の開発が必要である。



# ダグリ公園施設の指定管理者を指定

志布志市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正

(原案可決)

市職員の給料月額、扶養手当及び勤勉手当の額の改定を行う改正

志布志市課設置条例

(原案可決)

市役所の執行体制について、志布志市行政改革大綱に基づき、平成20年4月1日から、部制を廃止し、課制をとることとし、併せて課の統廃合を行い、管理職職員を減らし、行政改革の推進を図る。

**Q** 今回の課制への移行に伴う支所の今後の維持等について、どのような検討がなされたのか。

**A** 合併の協定項目として、総合的な支所を松山、志布志に置くことが明記されている。基本的に総合支所は維持していく。

志布志市行政財産使用料条例

(原案可決)

市道、都市公園等の法定外公共物以外の行政財産に関して、使用料額の明確な基準がないため、関係条例との整合を図って新たに制定する。

ダグリ公園の公園施設の指定管理者の指定

(原案可決)

国民宿舎ボルベリアダグリ及び展望台を株式会社休暇村サービスへ指定管理させる。

**Q** 選定委員会での採点結果では、他団体との評価に大差があるが、休暇村サービスの食中毒の問題、営業無許可の問題等を執行部が報告しているが、評価に影響があったと思うが。

**A** 選定委員会の方々は、応募者の情報は示していない。これらの問題については、議会で初めて知ったが処分も終わっているので問題は無いと思う。



指定管理者を指定したボルベリアダグリ!

**Q** コスモピア内之浦の撤退は聞いていたか。

**A** 修理等の事業関係でトラブルが発生し、撤退の申出書を提出したと聞いている。

定されなかった。

**Q** 観光開発公社の職員の処遇はどのようになるのか。

**A** 再雇用をし、現状に近い形で運営される。

**Q** 現在の観光開発公社へ委託しなかった理由は。

**A** 観光開発公社も応募されたが、評点が低く選

績があがっているが、今後の見込みは。

**A** この金額は補正の段階での金額であり、今後も鋭意努力して、この予算額より多くなるように努めたい。

**Q** 東京の東武百貨店で県の特産品展示会が開催されるが、市の特産品は出品しないのか。

**A** ハモを含む海産物、竹炭、さつまあげ、ダチョウ製品、焼酎等で9社の特産品が予定されている。

**Q** 国民宿舎特別会計への繰出金の最終見込みはいくらか。

**A** 営業実績をみて一般会計からの繰出しをお願いする。

平成19年度志布志市国民宿舎特別会計補正予算(第1号)

利用料金制度への移行により事業収入が減となり、一般会計から856万5千円を繰入れる。

平成19年度志布志市一般会計補正予算(第6号)

滞納繰越分の徴収実



# 有明農業歴史資料館等の 指定管理者を指定

**国民健康保険条例の一部  
改正**

(原案可決)

国の国民健康保険法の改正に伴う改正であり、3歳から6歳の負担を「3割」から「2割」にし、「6歳から70歳まで」の負担を「3割」に、「70歳以上」の負担を「2割」にするものである。

**Q** 条例改正による市の負担はいくらになるか。

**A** 保険者としての市の負担は、308万9千円と試算している。

**国税の一部を改正する  
条例**

(原案可決)

年金給付を受けている65歳以上の世帯主に対して課す健康保険税を、原則的に特別徴収するように改正するものである。

**Q** 市としての拠出額はいくらかになるのか。

**A** 概算で5億5千万円ほどになると思う。

**平成19年度一般会計補正  
予算(第6号)**

(原案可決)

**Q** 給食センターの突発的な修繕に備えてという補正予算の計上の仕方はおかしいのではないか。

**A** 修繕費として、当初120万円計上していたが、全額支出してしまったため、今回補正計上したものである。

**Q** 敬老祝金支給についての苦情はなかったか。

**A** 苦情が19件くらいあった。

**国民健康保険特別会計補  
正予算(第3号)**

**Q** 基金の残額はいくらか。

**A** 基金は全額とりくくしたので残額はゼロである。

**Q** 温泉保養券の利用状況はどうか。

**A** 月平均5,900枚利用されている。



志布志市老人福祉センターの指定管理者の指定  
(志布志市福祉協議会)



志布志市民センターの指定管理者の指定  
(志布志市福祉協議会)



志布志市健康ふれあいプラザの指定管理者の指定  
(志布志市福祉協議会)



志布志市老人憩いの家の指定管理者の指定  
(志布志市福祉協議会)



有明農業歴史資料館の指定管理者の指定  
(志布志市開田の村管理組合)

文教厚生委員会に付託された指定管理者の案件はすべて非公募であり、賛成多数で可決されました。



志布志市道路占用料徴収  
条例の一部改正  
(原案可決)

# 県道を市道に認定 (飯野松山都城線)

郵政民営化に伴い、郵便  
差出箱及び信書便差出箱  
を道路占用料の徴収の対  
象とし、条例を改正する。

**Q** 道路沿いに看板等が  
設置されているが、これは  
対象にならないのか。

**A** 屋外広告物等とも関  
係するので、調査して財  
源確保に努める。

**市道路線の認定**

(可決)

県道の飯野松山都城線  
を県から引き継ぎ、字尾  
交差点から曾於市場まで  
を市道として認定する。

**Q** 県道が廃止になるま  
では、県が管理することの  
ことだが、引き継ぎにあ  
たっては、補修が終了して  
から引き継ぎをするの  
か。

**A** 県の補修工事が来年  
の9月ごろまでかかるの  
で、補修工事が終了した  
後、引き継ぎをする。



交通事故多発の看板設置を行い補修工事後に、引き継ぎを！

**Q** 地方交付税が増える  
と思うが、見込み額は  
いくらか。

**A** 約800万円程度で  
ある。

**平成19年度一般会計  
補正予算(第6号)**

**Q** 農地保有合理化促進  
事業は、優良な農地を有  
効活用するため、基盤整  
備をして、担い手に引き  
渡すところだが、県が半分  
補助して、あとの半分は  
だれが負担するのか。

**A** あとの半分について  
は、担い手になる。

**Q** 通山・押切海岸の保  
安林は、松くい虫で立ち  
枯れしているが、駆除して  
いないのか。

**A** 押切海岸は、住居が  
あり航空防除できないこ  
とと、渚が近いため枯れる  
状況にある。地上散布もし  
ているが、効き目が薄い。

**Q** 通山・押切海岸は造  
林する計画だったが、その

後の進捗状況は。

**A** 地元の方々が、松に  
加えてクスやカシなど4  
種類の広葉樹を植えて、  
景観がよい憩いの場とし  
て整備をされている。

**平成19年度水道事業会計  
補正予算(第1号)**

**Q** 水道管の布設替えは  
進んでいるのか。

**A** 耐用年数は40年だが、  
品質の悪い時期のものも  
あるので、森山地区の水  
源掘削が終わりしだい、  
更新事業に取りかかる。

**松山農業管理センター及  
び松山新規就農者研修施  
設の指定管理者の指定**

志布志市農業公社に、引  
き続き管理を委託する。

**Q** 研修終了後の、研修  
生へのサポートはしてい  
るか。

**A** 農協の指導等を含  
め、研修生が自立するま  
では、農業公社がサポー  
トしている。



**有明開田の里公園の  
指定管理者の指定**

志布志市開田の村管理  
組合に、引き続き管理を  
委託する。

**Q** 公園の所在について、  
看板の設置等をしてPR  
しているのか。

**A** 松山、志布志にも、そ  
れぞれ公園があるので、市  
全体の公園位置図を作成  
し、広報等でもPRをし  
ていく。

産業建設委員会に付託に  
なった指定管理者の案件  
は、すべて非公募であり賛  
成多数で可決された。



## なぜ設立できないか 畜産振興協議会



迫田議員

**迫田正弘議員** 畜産振興協議会設立について市長の考えは。

**設立に向けて協議中**

**市長** 合併協議会でも話し合ったが設立には至らなかった。19年4月に志布志市肉用牛振興協議会を設立した。畜産振興協議会は20年度に設立できるように、関係機関と協議を進めている。

**設立の可能性は**

**問** 志布志市内には2つの農協があり、出資の面で足並みが揃わないと聞くが、協議会設立の可能性はあるのか、感触は。

**まずは振興会から**

**産業振興部長** 協議会設立について協議したが、経費の問題もあり、一緒にできないという流れがある。しかし、市が一本化した中で、緒に事業をすべきというところで、肉用牛部会を立ち上げた。現在松山町がやっている畜産振興会的なものを市で設立する方向で進めている。



松山町畜産振興大会

**市長** 畜産全体の振興を図るうえで、関係諸機関、

諸団体との協議をする場、そして共に畜産振興を進める組織体を設立したい。

**農地転用  
許可権限受諾を**

**問** 農地転用許可権限委譲を受諾する考えはないか。

**検討していく**

**市長** 権限委譲を受けると農業委員会へ委任となるので受諾するか委員会と検討していく。

**やっちくふるさと村に  
地元の産品を！**

**問** やっちくふるさと村指定管理者のダチヨウ牧場さんには感謝している。

農畜産物やお菓子など、地元産品の取り扱いがなくなり、地域の人々の気持ちが離れている。松山町の産品を取り扱えないか。

**地域の地場野菜等も販売している**

**市長** やっちくふるさと館はダチヨウの肉を使ったレストランを展開し、店内では地域地場野菜等も販売している。ダチヨウをシンボルとして、これまでにない新しい発想で努力がなされている。

**利用料の減免は**

**問** ふるさと村の施設利用料減免はできないのか。

**指定管理者が判断する**

**市長** 使用料の減免をす



ダチヨウ牧場

るか、しないかは指定管理者が判断することになる。

**企業誘致の成果は！**

**問** 積極的なトップセールスの展開により、若者定住につながる企業誘致や雇用の場の確保に取り組むとあるが、取り組む状況とその成果は。

**立地企業まだない**

**市長** トップセールスとして、新エネルギー関連、食品、観光関係、IT関連会社等を訪問したが、立地には至っていない。



# 合併特例債の活用を！



西江園議員

**西江園 明議員** 合併前多くの市民は、合併特例債で市が活性化すると期待していた。合併して2年が経過したが活用状況はどうか。

## 2年間で13億円を活用

**市長** 合併特例債は合併後の市町村の一体性の速やかな確立を図るために必要な公共施設の整備事業に活用できる。10年間で139億円発行可能である。合併後2年で約13億円活用している。

## 商店街の活性化に活用を図れ

**問** 地元商店街が衰退していく方の今こそカンフル剤として、合併特例債を活用すべきでないか。

**地域と一緒に考えながら取り組む**

**市長** 志布志の上町通りの振興については、重く受け止めている。人が集いなくなるような施設を地域と一緒に考え取り組む。

## 建設事業に特例債を

**問** 公共事業に、不景気であるこの時期こそ特例債を発行すべきでないか。

**全体で95億円を予定**

**市長** 普通建設事業に80億円、畑かん事業の償還

分に15億円を見込んでいいる。地域が疲弊している現況は、十分認識しているので特例債の活用を検討していく。

## 町工場の技術の紹介を

**問** 昨年の議会でも市内にある町工場が持つているすぐれた技術を広く紹介すべきでないかと質問したがその後の取り組みはどうか。

**市長** 人材バンク登録事業に取り組み、情報提供を呼びかけ多くの事業所、団体や個人を広報紙で紹介した。今後も能力を発揮する場の提供をできるよつ考えている。

## その後どうなった

### 高速道路計画

**問** 市民が長年待っていた東九州自動車道の地元説明会が開催されたが、示された計画案が地域を二分するもので市民に大きな不安を与えた。その後どうなったか。

市道をトンネル方式に

**市長** 安楽の安良地区は盛土工法で計画していたが国土交通省と協議し、交差する市道をトンネル工法に変更した。

## がけ上になる家屋は

**問** 安楽から上になる大原地区は逆に道路が掘削工法のため、平地にあった家が突然崖上になってしまつ計画であるため市民は不安を持っている。

## 今後とも国と協議する

**市長** 工法を含め今後とも国土交通省と協議し、地域が納得する形に持っていきたい。

## 都城志布志道路の整備を急げ

**問** 志布志港の発展には都城志布志道路の整備が喫緊の課題である。その後の進捗状況はどうか。

## 事業費の増額を期待する

**市長** 有明の伊崎田地区までは3月までには開通する予定である。そこから志布志箇のうち安楽の中島地区までは説明会を

開催した。そこから東九州自動車道のインターまでは現在調査中と県からの回答である。事業費についても大幅に増額されると期待している。

## 検診の精度を上げよ

**問** 長年にわたって市が行う乳ガン検診を受けていたのに病院でガンが発見され、即手術という事例があった。市が行う検診の精度は大丈夫か。

検証を行う

**市長** 本市においても、そのような事例が起こり残念である。検証を行った機関に連絡し検証を行っている。検証を委託している業者は、県下二円で実施しており、精度についても研修の取り組みを行っている。

疲弊<sup>はらひ</sup>費用がかさんで苦しむこと。



乳幼児健診



# 電子自治体の推進を図れ!



小野議員

**小野広嗣議員** 電子自治

体の推進にあたっては、市民の利用状況や評価、ニーズを把握しながら施策に反映していくことが重要となるが、本市の推進状況はどうか。

**情報化基本計画のもと順次推進していきたい**

**市長** 市民の視点に立った利便性向上のための情報化を推進したい。5月に電子自治体推進会議を立ち上げ、このほど情報化基本計画を作成したところである。20年度に具体的な実施計画を策定し、調査等を行い、年度ごとに財政的な検討を加えながら、順次推進してい

きたい。

**情報セキュリティの対策強化は万全なのか**

**問** 個人情報情報の管理体制に問題のある自治体があり、かなりあることが調査で指摘されている中、情報セキュリティ対策は喫緊の課題である。ファイル交換ソフト、ウィニーについても社会問題になったが、本庁支所、教育委員会などの対策強化は万全か。

**さらに強化に努める**

**市長** 情報資産の保護対策には十分配慮をしているが、日々変化する脅威に対応するため、職員共々、さらに情報セキュリティ運用指針の確立に努めたい。外部委託による個人情報漏洩防止対策の周知や、職員が自宅で

ウィニーを使うことのないように全職員に注意喚起を行ったところである。

**教育長** 学校における情報セキュリティの強化とコンピュータの適切な運用については、管理職研修会や通知により、注意を怠ることのないように指導を繰り返しているところである。

**発達障害を早期発見する5歳児検診の導入を**

**問** 発達障害は対応が遅れるとそれだけ症状が進むといわれている。早期発見で多くの子どもたちを救うためにも5歳児検診の導入を図るべきではないか。

**これまでの取り組みと  
考え合わせ検討したい**

**市長** 県内で19年度実施が2町、20年度から実施するところが1市であると聞いている。本市もこれまで発達障害対策には



電子自治体の推進を図れ

取り組んできているが、厳密な意味で言えば完璧ではないと認識しているの、検討したい。

**全国学力調査の結果を  
どう活かしていくのか**

**問** 約230万人の小学生が参加して行われた全国学力調査の結果が10月に発表されたが、今回の結果を本市としてはどのように受けとめ、今後に活かしていくのか。

**知識面と活用面の  
バランスを図りたい**

**市長** 知識面では、小学校の国語のみが全国より高く、これ以外はやや低い正答率であった。活用面でも算数・数学が低くなっており、知識面と同様、学習量が少ないことが要因のひとつと考えている。今後は各学校に対し、これまで行ってきたドリルを怠らないことや、体験的な学習の重視、あるいは生活面との関連を図った授業を工夫して、知識面と活用面の両面の育成を図り、バランスの取れた授業

が行われるよう指導していきたい。

**学校地域支援本部体制に  
十分に対応できるのか**

**問** 20年度より、4年間で中学校の1万校区に学校支援地域本部(仮称)が設置される。これは、地域全体で公立小中学校の教育活動を支援することが狙いであり、地域ボランティアが学習支援活動や部活動の指導を行うほか、登下校の安全指導を行うことなどを想定しているが、その実施に向け、本市は十分に対応できる状況にあるのか。

**各学校と地域の実情  
指導者の把握に努める**

**教育長** 本市の地域教育力の土壌はできていると思うが、それを効果あらしめるためにも、専門的な技術や知識を持った方々に協力していただけるような体制づくりは必要であると考えている。今後、各学校と地域の実情や指導者等の人材把握に努めていきたい。



# ボルベリアダグリ、民間へ委託か



毛野議員

**毛野 了議員** 現在、ダグリは観光開発公社で運営されており、契約納付金の6,500万円は十分可能である。現体制での継続ではなく、なぜ東京の民間会社なのか。

**市長** 指定管理者制度の導入に伴い、選定委員会で審議され管理者が指定されている。

**問** 休暇村サービス(株)は内之浦の国民宿舎とは契約期間が残っているにもかかわらず、経営悪化で撤退を通告している。こんな会社と委託契約しているのか疑問に思う。また、観光開発公社は委託後解散となるが、再度組織を立ち上げることは困難だと思う。ダグリは志布志市の観光の拠点として位置づけられ利用されてきた施設である。永

年継続してきた現体制の公社が、解散することは市民にとっても極めて残念なことと思うがどう考えているのか。

**市長** 観光開発公社は管理指定を受けないと機能を失い、当然解散の手続きをとることになる。ダグリ岬は志布志市に誇りうる観光資源であり、観光振興には全市的に取り組んでいる。また、移管後は国民休暇村サービスにも加わっていただき観光振興を図りたいと考えている。



どうなるボルベリアダグリ

## 農業振興策とその取り組み

**問** 市長は、わが町は農業が基幹産業であると言われるが、認定農家、高齢者、弱者農家が安心して営農に取り組める施策は。農業農村家業再生事業と集落営農組織作りの効果と現状。国営畑かんで、水のある農業のもと、県の産地指定(ブランド品)を受ける新規作物の導入の考えなど、安心、安全な食料供給基地作り施策は。

## 検討していく

**市長** 本市も65歳以上の農業従事者が54・1%であり、農村集落の将来が危惧される。そこで農家再生事業を立ち上げ、子孫に継承させ農業で生活できる農家育成と集落の維持に取り組んでいる。集落営農組織制度の周知徹底、地域リーダーの育成と行政のサポート体制の確立と支援策を考える。新規作物導入は県と畑かん営農センターを中心に取り組む。

## 県道整備の現状と今後の取り組み

**問** 施政方針及び合併協議会でも最も重要な県道柿ノ木志布志線は18年度予算約6千万円で二部着工されたが、市民が合併効果をいち早く実感できる最も関心度の高い路線である。19年度の予算執行と20年の見込みは。

## 早期全面改良に努力する

**市長** この県道は重点整備路線で18年度は6,100万円を着工、19年度は2,000万円の用地補償を行い、20年度は4,000万円程度を県土木部にお願している。関心の高い路線であり早期の全面改良に努力する。

## 産業振興と企業誘致を

**問** わが市は多額の投資で工業団地、食品団地等を抱えているが、地場産業の振興や企業誘致により、若者の定住と雇用の場の確保、地域経済の活性化に努める考えはないか。

## 引き続き誘致に努める

**市長** 現在国、県を始めエネルギー関係など19社にトップセールスに努め新たな展開に期待している。いくつか具体的に形が見える段階まで来ているが、引き続き誘致に努めたい。



# 軽くせよ！子育て家庭の 経済的負担を



鶴迫議員

## 鶴迫京子議員

少子化対策として平成19年1月から県は「鹿児島子育て支援パスポート事業」を実施している。10月現在、12市町村393店舗で協賛されている。18歳以下の子どもがいる世帯や妊婦など、子育て世代の家庭の経済的負担を少しでも軽くし、地域、企業、店舗、行政が一体となり応援するしくみであるこのパスポート事業を導入する考えはないか。

## 子育て支援

パスポート事業導入する

**市長** この事業は、協賛店舗でパスポートを示すと店舗ごとに定めた買物割引など特典サービスを受けられるしくみである。平成20年度子育て支援策のひとつとして県の要請もあり事業導入を考えている。

## 戦没者追悼式について

**問** 11月7日に舉行された戦没者追悼式についての現状認識と見解を。

## 後世に残された者の責務

**市長** 国では平和を祈念する日として毎年8月15日全国戦没者追悼式を舉行されて、県では10月に実施している。式典にて、哀悼の誠を表し、戦没者の御霊を慰めることは後世に残された者の責務であると自覚している。平和の尊さを認識し恒久の平和を願うため今後も実施していきたい。

## 教育の大切な使命のひとつ

**教育長** 62年前、体験した歴史的事実を風化させず次の世代に語り継ぐことが教育の使命のひとつ。学年の発達段階に応じ学習指導要領に添った命の尊さや平和を愛する心の育成をめざした教育活動が展開されるよう指導していきたい。

## 子どもや若い人も参加できる式典を

高年齢化には対応する

**問** 戦没者追悼式の参列者数も高齢化で年々、回を重ねることに少なくなっている。戦争を知らない世代が多いなか、戦争の記憶の風化を留め、子どもたちにも悲惨な戦争を語り継ぎ、しっかりと平和の誓いを心に刻みつけることが必要と思う。そのため現在の参列者の他に小学生、中学生、高校生、若い人なども積極的に参加できるように式典に見直す考えはないか。

## 高年齢化には対応する

**市長** 関係者の方が高齢化してきていることは十分考え認識している。何らかの形で対応していきたい。関係者から要望、改善があったら協議しながら検討していきたい。

## 「語り部」の養成を

**問** 戦争の悲惨さを語り継ぐ「語り部」等の養成は考えられないか。戦中、戦後の苦しい時代を生き

## 「語り部」は検討する

**教育長** 「語り部」の養成は講師を紹介し招聘し、生涯学習の環として語り部養成講座の開設を検討し、「語り部」に学校教育活動で話をしてもらう場面を学校と相談し検討したい。広島、長崎の修学旅行など、史跡を訪ねることにより、平和教育について学んでおり、平和のありがたさや大切さがわかるように指導している。



子育て支援を！

畏敬いけいにおそれ敬ひやうつこと。  
招聘しんぱん＝礼をつくして、丁寧に招くこと。



# 防災無線の整備を図れ



東 議員

**東 宏二議員** 市内各地から防災無線が聞こえにくい、農村地区に行くとならば、防災無線が聞こえない、災害、火災が起きると怖い、また、市の情報が分かりにくいなどの相談が多い、自主防災組織ができている自治会も多く、住民からは、戸別受信機の設置はできないかとの要望もあるが、設置はできないか。

## 年次的に整備を図る

**市長** 防災無線については、18年度本庁に統合卓を整備した事により緊急時には市内一斉放送ができる。戸別受信機は現在松山地区は全戸設置され

ているが、志布志、有明地区については全戸設置されていない。志布志地区においては17年度屋外子局を2基、18年度戸別受信機3台設置、19年度屋外子局を2基設置予定している。財政措置等を考慮しながらデジタル化以降の28年度頃までに年次的に整備を図っていく。

## 設置台数は

**問** 戸別受信機と屋外子局は有明、志布志、松山地区に何機設置されているのか。

**総務部長** 屋外子局の現状については、志布志71本、有明60本、松山が42本、戸別受信機は志布志703台、有明258台、松山1,984台の設置である。

## 要望があれば設置できるか

**問** 自主防災組織のある自治会で要望があれば、戸別受信機の設置ができるのか。

**市長** 自主防災組織の所

慮していく

については、特に配慮しながら取り組んでいく。

**市長** 自主防災組織の所  
統合卓<sup>ちゆうごうたく</sup>は旧3町のそれぞれの防災無線を一齐に放送できるシステム。



難聴地域に防災無線の設置を！

## 環境衛生の取り組みは

**問** コミステーションにある生ごみバケツのふたどめが、大半が壊れて犬や猫が生ごみをあさり、食いついてしまっている事が多い。現状のふたどめでは耐久性がないと思う。環境衛生のためにも改善すべきと思うが。

**速やかに検討する**

**市長** 志布志地区の生ごみバケツのふたどめは壊れており、修理をして欲しいとの問い合わせが多い

いことから、担当課で状況の把握を行った。今回の調査結果から、志布志地区の生ごみバケツの改善については速やかに検討していきたい。

## 全部入れ替えるのか

**問** 新年度で替えるという事であるが、全部入れ替える予算を計上するのか。

**全部入れ替える**

**市長** 全部入れ替えることと計画している。



生ごみバケツのふた留めの修理を！



# 敬老祝金は元にもどせ



小園議員

**小園義行議員** 敬老祝金は、平成19年度に条例改正をし、節目支給になった。18年度決算で2,015万6千円、19年度当初予算で約1,000万円、節目支給にした事で約1,000万円も少なくなった。節目支給にした事に対する住民の声をどう受けとめているのか。

おおむね理解を  
いただいている

**市長** 敬老祝金は9月に実施した。1,442人の方々が対象になった支給対象者や支給額の変更に  
ついては、市の広報等で周知を図った。苦情を含めた問い合わせは若干あつ

たが、おおむねご理解いただいていると思っ  
ている。

悲しい答弁である

元の祝金制度に戻すべき

**問** 長く続けてきた事業を変えた。そして9月に祝金を配り、今12月である。たった2ヶ月で理解を得られたとは私は思えない。お年寄りがひとり亡くなるひとつの図書館が消えていくというヨーロッパのことわざがある。それぐらいの気持ちを持つて高齢者の方々に対しては接していかなければならぬと思う。この問題は市長の高齢者の方々に  
対する思いが問われると思う。金額の問題ではない。敬老祝金を元の制度に返すべきと思うがどうか。



節目支給でなく全員に敬老祝金を

思いは同じ

**市長** 高齢者の方々は地域の宝物である。貴重な財産であるというふう  
に思うところは同じである。年齢を重ねられる中で、地域の人々から尊敬され、健やかに元氣である社会は  
どうあるべきか、ということを模索しながら、その施策に取り組んでい  
るつもりである。

3月議会後の対応は

**問** 介護保険の要介護認定者の障害者控除について、3月議会で市民部・福祉部各課と連携をとりながら、対象となる方々が、控除が受けられるよう広報周知に努めてまいりたいと答弁している。本年度に向けての対応はどうか。

今年度はしっかりやる

**市長** 18年分の申告については、志布志市障害者控除対象者認定要綱の制  
定が申告書の発送後になつて、市民への周知ができ  
なかつた。19年分については税務課としても、申告書の発送に合わせて障害者控除の項目欄に対象者認定について表記してお知らせする。福祉課としてもこの制度の内容等を説明した文書を全世帯に配布し、理解をしていただく。

図書充足率は国の基準を満たしているか

**問** 国が1993年に学校図書館の基準を設けた。その基準をきちんと満たし充実を図っていくべきと考えるがどうか。  
高める努力をする

**教育長** 本市の充足率が決して高くないということについては認識している。財政当局に実際の数字等を示しながら充足率が高まるように進めていく。また、市立図書館と連携を図りながら図書  
の選定購入を行うと共に、各学校の司書の指導力向上のための研修会も実施し  
充実を図っていく。



図書の充足率は満たされているか?



# 志布志市音頭を作り 活性化を図れ



立山議員

**立山 幸議員** 山重小学校の運動会のプログラムに、有明音頭のマスメージックがあった。小中学生はもとより、校区の多くの方々が参加され運動場いっはいの輪になり、有明音頭が披露された。見ておられた老人席の方々から、「合併したのだから、早よ、志布志音頭をつくって、来んな志布志音頭を踊いごっせんないかんが」との要望があった。合併して、市民体育祭もなく、市民が一緒になって力を合わせて協力し合う行事が少なくなつた。社会教育の面からも、早急に志布志音頭を作詞作曲して、志布志市が生き生きと輝く原動力とする必要があるのではないか。



記念事業と合わせて実施

**市長** 合併周年事業として、市の木と花を決定した。また、「イメージソング『フロムしぶし』」を作詞作曲し、各種イベントや学校等で活用している。県内の合併した市町では、さつま町、霧島市が実施している。志布志市音頭については今後、何かの記念事業と合わせて実施する。

農業振興を図れ

**問** 農業公社に対して、自走式堆肥散布車の購入補助事業はないか。

**市長** 強い農業づくり交付金事業として、国・県補助2分1の補助事業と、資源リサイクル畜産環境整備事業72.5%の補助事業がある。

**問** 現在農業公社の堆肥散布については、トラクター牽引による散布である。トラクター牽引による堆肥散布は、速度が遅く非能率的である。また、

## 志布志市音頭を作り活性化を図れ

行きは、トラクターの振動が大きく、堆肥が公道にこぼれ、帰りはタイヤの溝が大きいため、堆肥や土が詰まり、公道にこぼれて、依頼者は両方で後始末に苦労している状況にある。さらに、散布については、自走式散布車より均一に散布できないなど、多くのデメリットがある。高率補助もあり、有明本所に、土づくりのための農業振興と、畜産振興のため、自走式堆肥散布車の購入をする考えはないか。

償還終了後検討したい

**市長** 三つの農業公社が合併して、機械所有台数も多くなり、今後は、効率的な運営をするために、事業所間の相互利用を図る必要がある。堆肥散布については、平成18年度実績で、約110件の60ha散布しており、現在の牽引式で十分余裕がある。有明本所分については、償還が平成21年度までであり、今後、公社保有の車輛更新等の計画の中で償還終了後検討したい。



現在利用している堆肥散布車



# 新若浜に日本一のスポーツゾーンを



鬼塚議員

**鬼塚弘文議員**

新若浜に

全国規模のサッカーコートができる予定ということである。市長はグラウンドゴルフやゲートボール等の大会での挨拶で、日本一のスポーツゾーンができると述べられているが、可能性はどうか。

**重ねて要望する**

**市長** そのことについては、国、県に要望しており、おおむねそのような方向で整備が進み、事業が執行されるということである。実現に向けて要望を重ねる。

**支援が必要では**

**問** サッカーフェスティバル等の民間サイドの受け皿となる委員会が、立ち上がった折、市として財政的支援が必要と思うがどうか。



日本一のスポーツゾーンを！

**市長** きっちりとした形で対応したい。

委員会で検討中である

**学校のあり方について**

**問** 市立学校規模、配置のあり方検討委員会の進捗状況と方向性を示せ。

**教育長** 第4回の委員会を平成20年1月に予定している。来年度中に本市の学校が、現在のままで良いのか、悪いのか、方向性だけでも示してもらえればと思う。

**問** 特に小規模校の次年度の見通しはどうか。

二者択一を迫られる

**教育長** 四浦小では大部分の子供が来年度は四浦小に通う意思の弱いことが分かった。残りの2名も他の子供たちがいないなら、どうしようもないなら、どうあると、校長から聞いている。今後、児童2名で継続か、休校措置をとるか二者択一を迫られる可能性もでてくる。

**森山地区の宅地造成はその後どうなっている**

**問** 森山地域に宅地造成の強い要望があったが現況はどうなっているか。

さまざまな課題がある

**市長** 20年度に実施したいと思っていたが、さまざまな課題があり、現在解決に向けて検討している。その後速やかに提案する。

**道路整備について**

**問** 田之浦校区の黒葛線

の次年度の取り組みは。

予算を要求している

**建設部長** 平成20年から21年度で予定している。20年度予算については企画部財務課と協議をしている。

**携帯電話の使えない地域の整備を図れ**

**問** 潤ヶ野、八野、四浦地域で携帯電話が使えないとのことで、議論をしてきたが、20年度の見通しはどうか。

早期実現に

向け努力する

**市長** 通信事業者や国、県と連携しながら早期実現に向けて努力している。

**総務部長** 事業者が前向きな意見をもっているところを確認している。

3月に補助事業の内示を受け、交付決定、事業実施平成20年12月頃には、順調にいけばサービを開始できる見込みである。



# 街路灯（防犯灯）の設置を 早急にせよ



下平議員

**下平晴行議員** テレビや新聞等で毎日のように被害事件やひったくり事件等が発生しているようである。人通りの少ない明かりの無いところで事件が発生している。また、最近健康のためにジョギングをされている方からも街路灯（防犯灯）の設置について要望があるが、早急に設置できないか。

**必要性のあるところから予算化して設置する**

**市長** 自治防犯灯については集落の要望に基づき、設置に必要な場所へ2分1の補助で設置する。幹線道路の街路灯については交通量の多い見通しの悪いカーブや交差点、また、交通事故等の多発している必要性のあるところから予算化して設置する。



防犯灯のモデル地区を

**公平な維持管理を**

**問** 維持管理については旧町でそれぞれ違う。それでは不公平ではないか。

**当初予算に反映させる**

**市長** 今、検討中である。方針を決定して当初予算に反映させる。

**自治防犯灯モデル地区を**

**問** 電柱の設置や電気の配線工事等を自力で設置可能な集落があるが、このような集落を防犯灯モデル

ル地区として設置はできないか。

**市長** 集落からの設置要望や市内全域の状況を調査して検討協議を重ねる。

**校区公民館の補助金は不公平では**

**問** 校区公民館補助金については合併協議会で合併時に調整するとなつているが、補助金の取り扱いは公平・均衡が基本であり、あまりにも不公平であると思うが。

**教育長** 補助金の配分は、20年度から見直す。

**自治運営助成金はどうか**

**問** 自治会助成金については自治会活性化検討委員会を設置して見直すところがあるかどうか。

**市長** 自治会活性化検討委員会では自治会運営助成金及び活性化事業助成金について5月に設置して協議中である。

**条例公民館と自治公民館のあり方について**

**問** 条例公民館の管理は生涯学習課長が管理しているが、公民館の目的達成の事業については、自治公民館が実施している事業がほとんどである。公民館運営を嘱託し自治公民館長が運営している先進地があるかどうか。

**活性化・積極化を図る**

**教育長** 新年度当初に早速、先進地を研修させて公民館活動の活性化・積極化を図る。

**職員のメンタルヘルス対策を**

**問** メンタルヘルスが原因で職員の病休が相次いでいる。法的にも職員の安全と健康の確保、快適な職場環境の形成を促進するなどの目的として制定されているかどうか。

**市長** 特殊な事情のある職員については、配置について考慮している。

**メンタルヘルスII心の健康なしい精神健康**

**分煙機の廃止を**

**問** 健康増進法25条は受動喫煙を防止する目的で制定されている。平成14年6月に厚生労働省から公表された分煙効果判定基準策定検討会の報告書は、空気清浄機分煙機は無効との指摘をされている。全面禁煙する気はないか。

**庁舎内全面禁煙を前提に**

**市長** 将来的には庁舎内全面禁煙を前提に考え、喫煙室ないし排煙機については検討する。



# 自主財源の確保を図れ



福重議員

**福重彰史議員** 平成20年度予算編成の基本的な考えは。

確保に向け強化を図る

**市長** 市税は減収、地方交付税等は前年比マイナースとされ、一般財源が大幅に減少し厳しい財源状況になる。市税の課税客体的な確な把握と徴収強化等の収入確保、国・県支出金や有利な地方債の活用等、また、事業の必要性や優先順位を見極め、重点的かつ効果的な施策の展開の方針を示した。

**問** 18年度決算では、市税等の滞納や不能欠損等、総額3億を超えた。

限られた自主財源をしっかりと確保すべきではないか。

**市長** 極めて厳しい予算編成であり自主財源の確保、税等の公平負担の観点から強化を図ってまい

**地域高規格道路の直轄方式への要望を**

**問** 地域高規格道路の志布志市の区間を、国の直轄方式へ要望する考えはないか。

強く要望している

**市長** かなり厳しい。港までのアクセスのみでも進めてほしいと強く要望をしている。

**問** 県道、柳橋三場ヶ尾間の今後の見通しは。

**市長** 昨年並みの予算の4千万円は付く状況になつていない。早期開通に向け取り組む。

**耕作放棄地の対策を図れ**

**問** 農地の基盤整備は、農地や農業農村を守るためにも必要である。今後の計画と併せ遊休農地、耕作放棄地の現状を示せ。

**市長** 20年度から野井倉下段地区。24年度に志布志地区を中心にして松山、有明の一部を取り入れた整備を申請予定である。

**農業委員会局長** 耕作状況の悪いところで散見される。市全体で69.1haであり、各関係機関と連携を取りながら利用権設定

を進め、遊休地の解消に努めたい。

**問** 整備地区の水田暗きよ排水が詰まる状況が見られ耕作放棄されていく。排水対策を国、県にも要請すべきではないか。また、市単独土地改良事業の中でできないか。

国、県に要望をしていく

**市長** 国、県に要望していきたい。市でも調査をし、対応を考えていきたい。

**問** 整備ができなかった小団地が、取り残されて放棄地になっていく。新たな基盤整備地区と併せて実施できないか。また、市の土地改良事業の中で検討できないか。

**市長** 耕作放棄地が増えていくと農業振興に大きな影響がある。市の体制を含め関係機関に調整要望を重ねていきたい。



排水不能になった耕作放棄地

**障害者控除対象者へ積極的な支援を**

**問** 障害者控除対象者の認定書の交付は租税負担が増加し、その軽減策の一つである。市は積極的に支援をしていくべきではないか。

制度の周知を図る

**市長** 関係各課とも連携をしながら、制度の周知を十分図り積極的に取り組んでいく。

**軽減制度導入の考えは**

**問** 介護施設等でボランティア活動をした65歳以上の介護保険料を軽減することができるとは、この制度を導入できないか。

調査研究していきたい

**市長** 関係団体等の意見も聞き、事業の動向を見ながら、調査研究をしていきたい。



07年を一文で表現すると「偽」という文字で表わすことの一年であったと報道されている。06年姉歯建築士の耐震偽装が発覚し、07年は食品に関する偽装が次から次に報道された。

会社を経営する人達のモラルは、まさに消費者に気づかれなければ、だましてもいいんだという私たち国民には考えられない世界観である。

こうした状況は、これまでの国の政策で民間活力の導入とか、規制緩和の多の下に色々な法律が変えられ「民でできることは民で」と、それらに関することを進めてきた政治の結果が、大きく影響していると思う。

今私達、国民は国が行なう施策に対して、しっかりと監視をし、ものを言い、判断をするような行動が必要だと思う。07年は本市も公の施設の指定管理者制度の導入や、公立保育所の民間移管の

## 議員控室 「住民の視点で」

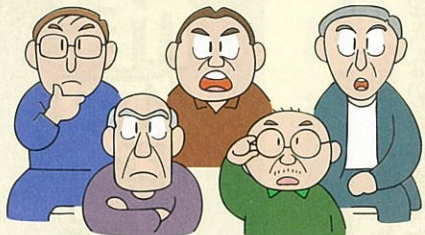
小園 義行



問題で議会でも大いに議論された。

こうした問題が、ただ単に市の財政が厳しいからといった視線で「民でできることは民で」と提案されるなら、おかしな発想である。なぜなら行政は利潤を追求する株式会社ではないからである。提案される、そのことがあくまでも住民の福祉の向上につながるかどうかの視点

が、もっとも大事なことと考える。なにより、わがまちの主人公は住民の皆様であると考えているからそう思う。



# 議会を傍聴してみませんか

市民が選んだ議員が、議場でどんな発言をし、市当局はどんな政策を考えているか、自分の目と耳でお確かめください。

編集後記

迫田 正弘



年末はこの家庭でも大掃除が始まる。新年をすがすがしい気持ちで迎えようという日本の良い風習であろう。大量生産、大量消費の時代になり、家中がすぐモノであふれてしまふ。志布志市は循環型のごみ収集にいち早く取りくみ、注目を浴びている。喜ばしいことだ。

3町が合併して3年目を迎える。財政的に厳しいことは志布志市も例外ではない。平成20年度の予算編成の方針は、前年度の90%の範囲であるという。いまの市の予算規模はだいたい180億円ぐらいであり、今後、志布志市が健全な財政運営をしていくためには、160億円ぐらいが適正な予算規模だということ。今後特別な収入が見込めない限り、かなりの事業削減や補助金の見直しをしなければならぬだろう。

4月から本格的な行政改革が始まる。かつて、宮沢内閣の副総裁を務めた、故、後藤田正晴さんは『決断というものは、単純にどちらを取るかということではなく、何をとって何を捨てるかという、捨てる行為も含まれることを忘れてはならない』と語っている。行政改革や、予算縮減は痛みを伴う。しっかりとした取捨選択する基準が求められる。

広報等調査特別委員

- 小野 広嗣 鶴迫 京子 坂元修一郎
- 西江園 明 迫田 正弘 立平 利男
- 立山 静幸 長岡 耕二 岩根 賢二

発行責任者

志布志市議会議長 谷口 松生